

歯科材料 03 義歯床材料
管理医療機器 義歯床補修用レジン（70831000）

ジーシー レペアジン

【禁忌・禁止】

メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

形状 : 粉末 100g
: 液 100g (106mL)

色調（全 9 色）:

No. 1 クリアーピンク、No. 2 ライトピンク、
No. 3 ピンク、No. 4 ダークピンク、No. 5 クリアー、
No. 6 ナチュラルライトピンク、
No. 7 ナチュラルダークピンク、No. 8 ライブピンク、
No. 9 パールピンク

主成分 粉末：メタクリル酸エステル重合体
液：メタクリル酸エステル

原理

- ・粉末と液を混合すると粉末が膨潤しつつ液成分のモノマーが重合し粘性が上がり重合硬化に至る。

特性

粉液比と室温（23℃）での硬化時間の目安は以下のとおりです。（社内試験方法）

使用法	項目	特性値
混和法	標準粉液比	粉/液=2g/1mL
	硬化時間	約 7 分 30 秒

【使用目的又は効果】

常温重合法により、義歯床の修理及び補修に用いる。

〔使用目的又は効果に関連する使用上の注意〕

- 1) ポリカーボネート樹脂、ポリスルホン樹脂、ポリエーテルスルホン樹脂製義歯床へは、充分に接着しない恐れがあるので、使用を避けること。

【使用方法等】

筆積み法

- 1) 前準備：筆積用皿、筆、スポイト、セロファン及びガーゼを準備します。義歯床の破損、人工歯の脱落などの修理、床の延長、欠損部の補修などの場合、補修したい部位の表面を一層削除するなどして、新しい面を出しておきます。石こう模型にはレジン分離材（ジーシー ニューアクロセップなど）を塗布します。
- 2) 粉末と液の採取：筆積用皿の一方の窪みに適量の粉末を、他方に少量の液を取ります。液は再使用できないため、液の採取は必要量に止めます。
- 3) 補修操作：筆に少量の液を含ませ、補修部に塗布します。次に、筆先に液を含ませ、粉末に触れると、粉末は一塊となって筆先に付着するので、そのままこれを補修部に運び、気泡が埋入しないように注意しながら填塞します。この操作を数回連続して積み上げますが、一回ごとに重合が進行して液の光沢が消滅するのを待って次の操作に移ります。また、筆は一回ごとにガーゼなどにて拭きます。最終的にやや多めに盛り上げ、セロファンを貼付して硬化を待ちます。重合反応は数分後に完了します。補修操作終了後は筆を液で洗い、清掃します。

圧接法

- 1) 前準備：補修箇所の前準備は筆積み法の場合と同様です。

- 2) 粉末と液の採取：まず混和器（ラバーカップなど）に所要量の液を取り、徐々に粉末を添加し、セメントヘラなどで 30 秒間静かに攪拌し、餅状になるのを待ちます。標準粉液比は粉末 1g に対し液 0.5mL です。
- 3) 圧接時間：室温の高低により差がありますが、混和完了から約 2～3 分で柔らかい餅状となり、圧接に好適の状態となります。なお操作可能時間は 3～4 分間です。
- 4) 補修操作：補修箇所を液を塗布した後、餅状レペアジンを圧接します。液の揮発を防ぎ重合反応を完全に行わせるため、セロファンで補修部を覆います。
- 5) 重合時間の調整：粉末と液との混和後、重合硬化反応は、室温 23℃にて約 7 分 30 秒で完結します。なお夏期高温時には混和器及び液を冷却し、冬季低温時には少し加温するなどの処置により室温の影響を緩和します。

研磨：研磨は 24 時間後に行うのが適当ですが、急を要する場合は、硬化後 70℃前後の温湯中に 20 分程度浸漬してから研磨します。研磨時は強い発熱を避けるため、水で潤します。

〔使用方法に関連する使用上の注意〕

- 1) 本材は、標準粉液比（粉/液＝1g/0.5mL）で使用する。こと。
- 2) 液は揮発性を有することから、未硬化の状態で口腔内に適用する場合、鼻呼吸するよう患者に指導すること。〔吸引により、気分が悪くなる可能性がある〕
- 3) ラバーカップに小分けした粉末や液は、元の容器に戻さないこと。〔粉、液の変色、変質が起こる可能性がある〕
- 4) 本材を使用した硬化物の研磨作業等の際には、粉塵による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用し、粉塵を吸入しないこと。

【使用上の注意】

- 1) 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
 - ① 薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本材及び類似品に対して過敏症歴がなくとも問診を行い、慎重に適用すること。
- 2) 重要な基本的注意
 - ① 本材の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状を起こした患者には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けさせること。
 - ② 本材に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症状の既往歴のある術者は、本材を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
 - ③ 液又は液と粉末との混合物は直接素手で触れないこと。また、皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。皮膚に付着したときは、すぐにアルコール綿などで拭いた後、流水で洗浄すること。万一目に入ったときは、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。
 - ④ 重合したレジン水中に保存し、残留モノマーを溶出させてから口腔内に装着すること。〔過敏症を誘発する可能性がある〕
 - ⑤ 本材は可燃性であることから、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、高温となる場所（ストーブの側、直射日光の当たる場所など）に放置しないこと。テーブル、床上などにこぼしたときには、すぐに乾いた布でよく拭き取ること。
 - ⑥ 液は揮発性を有することから、使用する際には適切な換気（1 時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。〔溶剤が人体に影響する可能性がある〕
 - ⑦ 本材は重合の際に発熱を伴うことから、大きな混和物において発熱を感じた場合は直接触れないようにし、作業中の火傷等を起こさないように注意すること。

- ⑧他の製品と混用しないこと。[製品本来の性能が得られない可能性がある]
- ⑨本材は、【使用目的又は効果】に記載の用途以外には使用しないこと。
- ⑩本材は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- ⑪本材については、試験による MR 安全性評価を実施していない。(自己認証による)*

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・本材は、火気厳禁の冷暗所に保管し、一つの保管庫に大量に保管しない。
- ・高温となる場所(ストーブの側、直射日光の当たる場所など)を避けて保管する。
- ・保管する場所には、消火器を備える。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。
- ・容器は、使用后すぐに密栓する。

[有効期限]

本材は、包装に記載の使用期限※までに使用する。

※(例 EXP. 2028-06 は
使用期限2028年 6月 を示す。)

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 : 株式会社ジーシーデンタルプロダクツ
主たる設計元 : 株式会社ジーシー

発売元 : 株式会社ジーシー
住所 : 〒113-0033
東京都文京区本郷3丁目2番14号
電話番号 : (お客様窓口) 0120-416480